
インドリーム

輝説

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
インドリーム

【Nコード】
N1203P

【作者名】
輝説

【あらすじ】
謎の生命体Xがねている少女亜矢に出会い・・・

出会い

あなたは夢を見ますか？

夢を見る方はご注意ください。

この世の中には記憶や夢の中に入り込んでくる奴がいます。

この話は記憶や夢の中に入り込む謎の生命体Xと少女亜矢の物語です。

Xは夜になると活動を開始する。

「今日の獲物はどいつだー？」

Xは寝ている亜矢を見つけた。

「zzzz・・・」

「おっ！あいつ寝てるな。」

「さあて見せてもらおうかな。」

夢の中へ入る前にXは亜矢の記憶をたどった。

「ん？こいついじめられているのか。」

そう。亜矢はいじめに会っているのだ。

「まあいいか。とりあえず夢を見せてもらっぜ」

Xは夢の中に入った。

「こっこいつ・・・夢の中でもいじめられてるのか。」

さすがのXも同情してしまった。

とそのとき夢の中の亜矢が話しかけてきた。

「あなたは誰？」

「お前俺のことみえるのか？」

「うん。見えるよ。」

「お前かわいそうだな。」

「なんで？」

「な・・・なんでっってお前いじめられているじゃないか。」

「だって慣れてるんだもん。」

「お前・・・よし俺が助けてやるから・・・」

×は突然消えた。

亜矢は目を覚ました。

「何だったんだろう？」

子供の亜矢はまだ状況を把握できていなかった。

出会い（後書き）

さあこの後はいっ
たいどうなるんだー？

けんかした夜（前書き）

昨日の夜Xに出会った亜矢。あることをきっ
かけにけんかしてしま
い・・・。

けんかした夜

次の日の夕方

今日もいじめられて帰った亜矢。

疲れきった亜矢はお風呂に入りすぐに出てゆつくりと眠りについた。

「亜矢今日もいじめられたのか・・・。」

Xが夢の中で話しかけてきた。

「だから、いつものことで慣れてるから大丈夫だって。」

「そうか・・・。」

「ならひとつだけ教えてくれ。」

「何を？」

「いじめてくる奴のうち一人の住所を。」

「いいけどなんで？」

「まあいいから。」

「*****だよ。」

「そうかありがとよ。」

Xは亜矢と友達のような関係になってきた。

そして次の日ある変化が起きた。

Xに教えた住所の子があまりいじめてこなかった。

心当たりはただひとつ。

Xだ。

その日の夜眠りについたとき早速Xが話しかけてきた。

「今日はあまりいじめられなかったようだな。」

「あなたあの子に何したの？」

「な・・・何って何もしてないよ。」

「嘘よ。」

「本当だ。」

「うそつきは嫌い。」

「そ・・・そんな。」

そのとき亜矢は目を覚ました。

Xの反応からしてXは亜矢に嫌われるのがいやなのだろう。
亜矢はそんなことには気づかずにいた。

「Xなんて嫌いよ。」

そう言つて亜矢は家を出た。

けんかした夜（後書き）

けんかした亜矢とX仲直りできるのか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1203p/>

インドリーム

2010年11月25日00時14分発行